

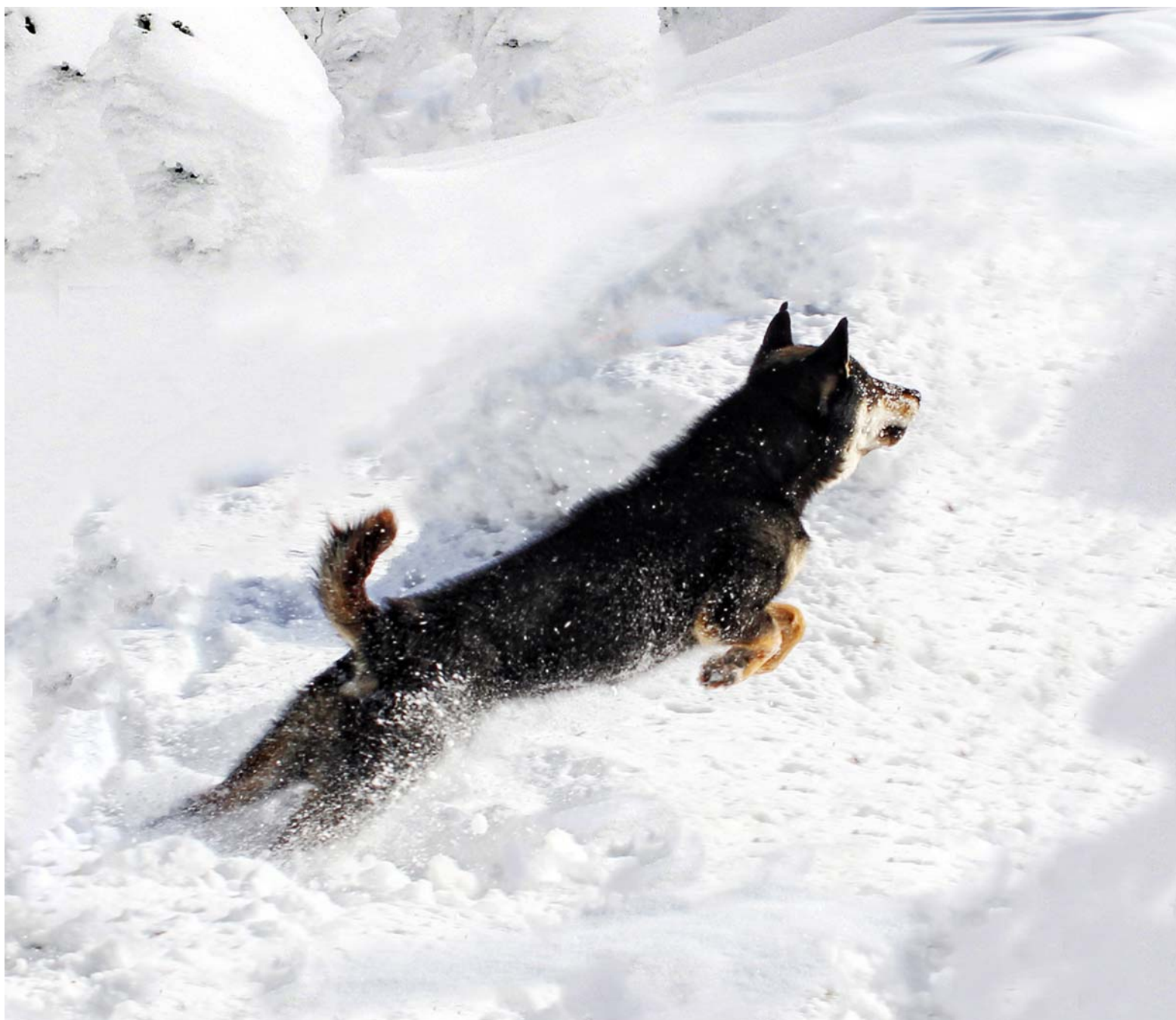
NPO 法人



2011年 8月10日

第11号

Jomon Shiba



特定非営利活動法人
縄文柴犬研究センター

NPO法人



Jomon Shiba

第11号

もくじ

「JoeとMon」の裏事情 ☆JSRC理事・岩手県 佐々木俊幸	2
さくら2度目の出産記録 ☆JSRC理事・長野県 肥田恵司	3
シバの散歩道(11) ☆JSRC理事・根深 誠(文筆家・釣り師・元登山家)	4
十国犬の今 ☆北群馬渋川郷土館 館長・小山 宏(文学博士)	8
お便りコーナー ☆北海道・堀さん	10
☆福島県・稲田さん ☆大阪府・有藤さん	11
☆秋田県・伊藤さん ☆秋田県・福島さん ☆富山県・仲市さん	12
☆静岡県・山崎さん	12
☆石川県・横山さん ☆北海道・橘さん	13
☆富山県・竹内さん ☆京都府・金さん	14
思い出の犬たち-11-「桜」を生きた犬-4 ☆柴犬研究所	15
新刊「クマゲラの生態誌」 ☆JSRC理事・本州産クマゲラ研究会代表・藤井忠志著	16
「クマゲラの生態誌」出版裏話 ☆本州産クマゲラ研究会代表・藤井忠志	17
事務局報告 ☆新入会 ☆会費 ☆御寄附 仔犬登録	18
☆2010年度 事業報告書	19
☆2010年度 会計収支報告書	19
☆2011年度の事業計画と予算について	
☆2011年度 事業計画書	20
☆2011年度 予算書	21
☆寄贈	22
☆諸料金一覧 ☆血統登録について	3
計報・山下楠一さん	22



・会費や寄附などをお寄せいただいた方の氏名・県名を掲載させていただきますが、匿名を希望される場合は、お知らせください。

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

会事務所

郵便振替口座 02280-2-106951

〒 014-0073 秋田県大仙市内小友字堂ノ前119番地5

TEL 0187-68-2976

<http://www.jomon-shiba.com/>

encounter_shiba@jomon-shiba.sakura.ne.jp

「JoeとMon」の裏事情

理事 佐々木 俊 幸 (岩手県)

第2号から9号まで、会誌の最後のページに掲載されていた稚拙な漫画「JoeとMon」。

以前からコンピュータグラフィックなるものに興味を覚えていた私が、アプリケーションソフトを揃え、さぁこれから勉強だという思い入れついでに始めた作品である。

ネタは我が家にいるワンたち2匹。今年で7歳になる日保犬籍の「すず」と、縄文柴犬の「らん」5歳である。

私が「縄文柴犬」なる存在を知るようになったのは、今から7年前。我が家に始めて迎える血統書付きの犬「すず」がやってきた時である。

それまで雑種の子犬を近隣の家から預かり、家族に迎えるということは何度かあったのだが、お金を払って由緒ある血統書付きのお犬様を迎えるとあって、襟を正すような気持ち？で犬のことを勉強しなければいけないと思っていた。

インターネットを検索して、関連機関を探したのであるが、昨今のペットブームを反映してなのか、ヒットするのは柴犬に関わる商売絡みのサイトばかり。子犬のネット販売は言わずもがな、種付け繁殖を請け負いますやら、破格の値段の優良犬の紹介やらと犬の育て方、柴犬とは何ぞやといった、正面を切って入り込んでくる内容のサイトにはお目にかかれないうままであった。

そんな中で、やっと巡り会えたのが縄文柴犬研究センター(当時は縄文柴犬研究会)であった。

早速研究会の門戸をたたいたのだが、受付の五味さんから「どうやらお宅のワンちゃんは縄文柴犬じゃなさそうだが、かまわないか」と確認され、何がどう違うのかよくわからないうちに始めた研究活動であった。

その後、日保犬と縄文犬の違いを研究するというお膳立てで、2年遅れで研究会から「らん」を迎え入れることになったのである。

ワンたちの命名は、柴犬だけに和風の名前を…と、先輩犬は鈴の音の「すず」にしたのだが、縄文犬のほうは、頭を悩ましたあげく、「鈴蘭の花」の「すず」と「らん」だと言うことになり、いよいよ我が家でのすず・らん姉妹の生活が始まったのである。

犬2匹との生活が始まって、何が変わったかという、対人関係ならぬ対犬関係である。

それまでのすず一匹との関係は、あくまでも「人と犬」1対1の関係だったものが、犬2匹となったとた

左:すず

右:らん



んに、「犬と人のひとつの群れ」のような関係になったように思う。

たとえば、散歩に連れ出す時の心構え、えさを与える時の配慮など、ボスとしてのこちら側の対応を充分に考えないと思いがけない反応に出くわしてしまうのである。

とにかく、犬と私という前提ではなく、犬たちの序列関係に気を使いながら、私たちヒトも上手に接していく…そんな微妙な関係がいつの間にか生まれているように思う。

そんな中から、毎日ささやかなドラマが生まれるし、そんなしあわせな状況が漫画になるきっかけであった。

昨年、すずらん姉妹の妹、らんが2匹の子犬を授かった。家族総出でこの喜びを分かち合ったのであるが、母性本能のなせる技であろうか、すずとらんの関係は微妙になり、朝晩の鳴き声がうるさいと近所から苦情が来るようになった。やむを得ずらん母子を五味さん宅に預かってもらい、事態に対応することになった。それ以来「JoeとMon」もネタ切れ、連載中断ということになっている。

らんと別居している間に家族でいろいろと「らんとすず共生対策」を練って、ワンたちへの対応を検討した結果、現在らんを連れ戻して一緒に生活をさせている。

今のところは少しずつ状況は改善されてきているが、まだ振り回されている面も見られている。

またまた「JoeとMon」のネタは尽きることがない。会誌上にまた目障りでへたくそな漫画でお騒がせをするが、「JoeとMon」シーズン2がそのうち始まることを宣言させてもらいたい(笑)。

さくら (新田の夏女・2009.7.24生) 2度目の出産記録

理事 肥田 恵司 (長野県)

さくらがクロ(藤の鉄駒)との間に最初に仔犬を産んだのは、2010.10.25日でした。

さくらは、4匹の仔犬の親となりました。(詳細は会誌9号に掲載)

今回の出産は2才に20日前のことでした。前回は交尾60日目での出産、今回は61日目での出産、しかも7匹もの仔犬!(動物病院でのレントゲン検査では40日目・3匹+α、50日目では5匹・・・と。)

7月7日、七夕の日の午前11時頃、破水が始まり赤黒っぽい袋が顔を出し、11時15分、1匹目・黒の雄を出産・・・ところが、大きい母犬のおなかが邪魔をして、口が仔犬に届かないのです。私の出番です!さくらは臍の緒が長さ5センチ位になるまで何度も何度も咬みちぎろうとしていました。緒は弾力があり、なかなかちぎれなかったのです。

ようやく出産した順は、②11時35分・黒雌(240g)③13時45分・黒雄(230g)④13時55分・黒雌(230g)⑤14時20分・赤雄(250g)・・・と、雄3、雌2、やれやれ無事に終わった、と後片付けをしていると、⑥15時30分・黒雌(240g)が、⑦16時20分には赤雄(240g)が誕生!びっくりするやら、うれしいやら・・・、本気で里親

子犬とさくら・2011.7.16写



探しをしなくては!その時、頭に浮かんだのはそのことでした・・・。母犬だけでは間に合わないのので、仔犬の体をふく手伝いをしました。

さくらの出産に、前回は立ち会えなかったので、私にとっては大満足な記念日になったのと同時に、この仔犬たちがしっかり成長出来るよう、私もサポートしなくては、と、強く決意をした一日でした。

(2011.07.14)



母犬:新田の夏女・2009.7.24生(鉄熊×菊の紅子)



父犬:クロ=藤の黒駒・2005.1.9生(鍵山黒駒王×栗駒の秋桜)

諸料金一覧

会費	・ 入会金	1,000円
	・ 年会費	5,000円
登録料	・ 血統書発行 一頭	1,500円
	・ 犬舎名	2,000円
	・ 登録再発行 一頭	1,000円
	・ 単独犬	2,000円

血統登録について

- ①. 仔犬が生まれた方は御一報下さい。(用紙送付)
- ②. 申し込みには登録料が必要です。
- ③. 血統登録、犬舎名登録は五文字以内で、漢字には必ずふりがなを付けること。
- ④. 両親犬のカラー写真(5×6cm以上)を添付。
- ⑤. 二週間以内に、カラー印刷で発行しております。